

# 田辺工 3種目で準優勝

## インターハイ 男子カヌー活躍

全国高校総体(インターハイ)カヌー競技が7〜9日に山梨県であり、田辺工業(田辺市あけぼの)3年の秦秀明・今村啓志組が男子カヤックペア(K2)200㍎と500㍎でそれぞれ準優勝した。2人と水野駿(3年)、射場祐太郎(2年)両選手の4人で出場した男子カヤックフォア(K4)200㍎では準優勝、K4の500㍎でも3位に入った。

学校別の総合得点では、田一た。県勢としては過去に同校  
田工業は男子で4位になつと神島(田辺市文里2丁目)



カヤックフォア(4人乗り)の200㍎で準優勝、500㍎では3位に入った田辺工業の(左から)射場祐太郎、秦秀明、水野駿、今村啓志の各選手。秦、今村組はペアの2種目でも準優勝した—提供

が記録した5位を更新した。カヌーは座ってこぐ「カヤック」と片足の膝を立ててこぐ「カナディアン」があり、インターハイでは、男女別でそれぞれのシングル(1人乗り)、ペア、フォアの200㍎と500㍎があり、日本一の座を争った。

田辺工業の記録は、準優勝したK2―200㍎が36秒789、K2―500㍎は1分41秒665。K4―200㍎は35秒670だった。3位になったK4―500㍎では1分36秒893を記録した。いずれも優勝は谷地(山形県)だった。

秦選手は「谷地の強さは分かっていたが、勝負で負けたのは悔しい。それでも、練習時間が少なかったフォアの200㍎決勝では、これまでで一番よいこぎが出せた」と振り返る。今村選手は「全国制

覇を目標にずっとやってきたので2位でも悔しさはあるが、力は出し切れた。チームのサポートもあり、よい状態でレースに臨めた」と語った。

田辺工業の谷地利和監督(42)は「秦、今村選手がペアを組んだのは1年生の秋。当時はここまで来るとは思わなかった。2人が貪欲に取り組んできた結果。フォアでは4人の個性がかみ合い、力を出せたと思つと話している。上位入賞の選手以外で田辺工業、神島から出場した選手は、200㍎、500㍎ともに準決勝で敗退した。」

が記録した5位を更新した。カヌーは座ってこぐ「カヤック」と片足の膝を立ててこぐ「カナディアン」があり、インターハイでは、男女別でそれぞれのシングル(1人乗り)、ペア、フォアの200㍎と500㍎があり、日本一の座を争った。

田辺工業の記録は、準優勝したK2―200㍎が36秒789、K2―500㍎は1分41秒665。K4―200㍎は35秒670だった。3位になったK4―500㍎では1分36秒893を記録した。いずれも優勝は谷地(山形県)だった。

秦選手は「谷地の強さは分かっていたが、勝負で負けたのは悔しい。それでも、練習時間が少なかったフォアの200㍎決勝では、これまでで一番よいこぎが出せた」と振り返る。今村選手は「全国制